

至誠館大学

科目名	韓国語Ⅱ			コード	1240		
英語表記	Korean language Ⅱ						
担当教員名	李 文相			年度	平成28年度		
基準年次	1年次	開講期	後期	単位数	1		
授業形態		授業形式	演習	履修形態	選択必修		
授業概要							
まず、韓国の文字であるハングルを理解し、読み書きの練習をしながら基本文型を身につける。視聴覚機材を活用し、韓国語の読み・書き・ヒアリングの早期達成を目指す。さらに、韓国人の身近な話題や風習などを取り上げ韓国人の考え方や文化について理解を深める。							
到達目標							
<ul style="list-style-type: none"> ・ハングルの成立要件と音韻規則を理解すること ・韓国語や日本語の類似点及び相違点を知ること ・韓国文化に関心が持てること 							
授業計画							
第1回	後期授業ガイダンス、前期授業の確認とやさしい文型の構文の輪読。						
第2回	丁寧形と助詞の応用(1)、やさしい文型の作文。						
第3回	丁寧形と助詞の応用(2)、日常生活を話題に会話の練習をする。						
第4回	否定形に慣れる、1日の日課について尋ね合う。						
第5回	意思・推量・婉曲の表現「ゲッ」の文型、夏休みを話題に会話の練習をする。						
第6回	尊敬語(1)、日韓両言語における尊敬語の概念の差について認識する						
第7回	尊敬語(2)、尊敬語で尋ね合う。						
第8回	尊敬語(3)、尊敬語を使って手紙を書く。						
第9回	漢数字と固有数詞の使い分け(1)、時刻、年月日の表現に慣れる。						
第10回	漢数字と固有数詞の使い分け(2)、年齢の言い方に慣れる						
第11回	過去形(1)、過去形を用いて短文の練習をする。						
第12回	過去形(2)、過去形を用いて短文の練習をする。						
第13回	です／ます形の会話体(1)、「～へヨ」体に慣れる。						
第14回	です／ます形の会話体(2)、「～へヨ」体に慣れる。						
第15回	総括・まとめ、質問に応じて総まとめをする。						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
授業時に行う小テスト、授業態度、授業へ参加度			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
			0	50	20	30	0
授業外学習			テキスト、教材				
復習を怠らないようにしましょう。			サランへヨ！ハングルー初級から中級へー,李文相共著, 白帝社				
参考書			受講生へのメッセージ				
授業時に指示する			韓国語の読み書き、ヒアリングができれば韓国に出かけましょう！				
キーワード							
韓国語会話、ハングル、韓国文化、韓国旅行							